



## 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月14日

上場会社名 株式会社東京スタイル

上場取引所 東

コード番号 8112 URL <http://www.tokyostyle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島芳樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統轄本部 (氏名) 門田 潔

TEL 03-3262-8111

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	26,822	4.3	603	370.8	272	△93.0	1,177	△39.7
22年2月期第2四半期	25,719	—	128	—	3,869	—	1,953	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	13.36	—
22年2月期第2四半期	22.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	149,005	134,414	88.9	1,502.65
22年2月期	159,905	144,049	88.9	1,613.35

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 132,390百万円 22年2月期 142,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	17.50	17.50
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	17.50	17.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	5.4	3,500	729.4	5,200	21.5	4,700	535.1	53.33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期2Q 102,507,668株 22年2月期 102,507,668株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 14,402,930株 22年2月期 14,399,109株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期2Q 88,105,896株 22年2月期2Q 88,114,038株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、【添付資料】P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」および、本日別途開示する「平成23年2月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
【第2四半期連結累計期間】	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日～平成22年8月31日)におけるわが国経済は、急速な円高進行と株価下落により景気の先行き懸念が強まるなか、雇用環境と個人所得が低迷するなど厳しい状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、極端な低価格指向は一段落したものの、消費マインドの減退は依然として根強く、記録的な猛暑により正価販売も低調に推移するなど、経営環境はますます厳しさを増しています。

こうした状況のなか、当社グループは、時代の変化を的確に捉えた新しい発想と価値観で、売上規模の拡大と、将来の成長を見据えたビジネス・モデルの確立に向けて、様々な施策に積極的に取り組んでまいりました。

具体的には、ブランドポートフォリオを抜本的に見直し、ブランド毎のコンセプトの再構築やエージ設定の是正を行なうとともに、パターンも刷新し、あわせて採算向上に向けたブランドの統廃合とショップのスクラップ & ビルドを強力に推進しております。また、新規販路の開拓や売場の活性化に向けた新ブランドとして、テレビ通販専門の「パートナール」、ニューヨークのニュー・コンテンポラリー・カジュアルブランド「オートヒッピー」、都市型商業施設に向けた「ラヴドゥローズ」を開発・投入致しました。来年の春夏物からは、大人の女性向けの、全く異なるテイストの2つの新ブランド「ココフク」と「ツールフェイス」を百貨店向けにスタート致します。また、宣伝販促を強化充実し、雑誌、ヴィジュアルボード、ブランドサイト、あるいはファッションイベントへの参加など、メディアミックスによるブランドの浸透度・知名度の向上を図っております。

さらに、常に変わらぬ経営の最重点方針である『商品本位主義』のもと、お客様にご満足いただける真に価値ある商品を提供するべく、『S・V・M』(スーパー・バリュー・マーチャндаイジング)と名付けた新しい『価値訴求』を推進しています。具体的には、当社独自で開発した戦略素材や機能素材をブランド横断で使用することで原材料コストの低減を図るとともに、高い技術水準を誇る国内4ヵ所と中国2ヵ所の直営工場を中心とした生産ネットワークを駆使して、オリジナリティーに溢れた高品質で付加価値の高い商品をリーズナブルな価格でお客様に提供しております。

海外戦略では、中国、香港、台湾を中心に売場の強化と販路の多様化に積極的に取り組んでおり、新ブランドの「ラヴドゥローズ」は日本と中国の同時発売により一定の成果をあげております。また、8月には中国の婦人服SPA企業である「北京子苞米時裝有限公司」をグループに迎え、中国全域への商圏拡大の地歩を固めました。尚、生産ネットワークの拡充の一環として、ベトナム、バングラデシュなどでの生産にも取り組んでおります。

こうした経営施策の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は268億22百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業利益は6億3百万円(前年同四半期比370.8%増)となりましたが、経常利益は、株式相場下落により有価証券評価損を計上したことから2億72百万円(前年同四半期比93.0%減)と不本意な結果となり、純利益は11億77百万円(前年同四半期比39.7%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①連結財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ109億円減少し、1,490億5百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ12億65百万円減少し、145億91百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ96億35百万円減少し、1,344億14百万円となり、自己資本比率は88.9%となりました。

## ②当第1四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益は18億5百万円計上しましたが、売上債権が9億86百万円増加したことから12億80百万円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券および投資有価証券の購入が、売却および償還を43億92百万円上回ったことを主因に、49億88百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払15億41百万円を主因に、15億61百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ53億82百万円減少し、238億44百万円となりました。

なお、上記の現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高には、預入期間が3ヵ月を超える定期預金が除かれております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、本資料の発表日現在におきましては、平成22年4月14日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 期中における重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等ならびに繰延税金資産の回収可能性の判断

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降の経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当ありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,919	31,288
受取手形及び売掛金	5,940	4,953
有価証券	8,063	9,342
たな卸資産	7,230	7,165
繰延税金資産	2,688	2,631
その他	1,797	1,604
貸倒引当金	△57	△51
流動資産合計	51,582	56,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,349	2,673
機械装置及び運搬具(純額)	335	359
土地	10,913	8,993
その他(純額)	381	415
有形固定資産合計	14,979	12,442
無形固定資産		
	672	769
投資その他の資産		
投資有価証券	66,457	73,473
長期貸付金	32	392
繰延税金資産	5,592	5,271
その他	9,695	10,823
貸倒引当金	△8	△202
投資その他の資産合計	81,770	89,759
固定資産合計	97,422	102,971
資産合計	149,005	159,905

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,841	6,741
短期借入金	45	—
未払法人税等	802	597
未払消費税等	50	50
賞与引当金	199	121
返品調整引当金	557	560
賃貸借契約解約損失引当金	100	180
その他	2,338	2,651
流動負債合計	10,935	10,903
固定負債		
長期借入金	1,682	1,982
退職給付引当金	1,344	1,367
役員退職慰労引当金	99	1,182
繰延税金負債	92	92
その他	437	327
固定負債合計	3,655	4,952
負債合計	14,591	15,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,734	26,734
資本剰余金	44,934	44,934
利益剰余金	85,049	85,414
自己株式	△16,663	△16,661
株主資本合計	140,055	140,422
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,518	1,791
為替換算調整勘定	△145	△64
評価・換算差額等合計	△7,664	1,727
新株予約権	37	—
少数株主持分	1,985	1,899
純資産合計	134,414	144,049
負債純資産合計	149,005	159,905

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	25,719	26,822
売上原価	13,094	14,115
売上総利益	12,625	12,707
販売費及び一般管理費	12,496	12,103
営業利益	128	603
営業外収益		
受取利息	933	614
受取配当金	—	398
有価証券評価益	2,148	—
その他	778	168
営業外収益合計	3,860	1,180
営業外費用		
支払利息	20	16
有価証券評価損	—	1,230
その他	98	265
営業外費用合計	119	1,511
経常利益	3,869	272
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	1
役員退職慰労引当金戻入額	202	37
過年度有価証券評価益	—	698
匿名組合分配益	—	1,203
その他	124	115
特別利益合計	331	2,054
特別損失		
貸借契約解約損	385	—
役員退職慰労金	193	—
投資有価証券売却損	—	160
投資有価証券評価損	—	290
その他	231	71
特別損失合計	810	521
税金等調整前四半期純利益	3,390	1,805
法人税、住民税及び事業税	302	416
法人税等調整額	1,098	163
法人税等合計	1,400	579
少数株主利益	37	48
四半期純利益	1,953	1,177



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,390	1,805
減価償却費	468	428
のれん償却額	80	80
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△188
退職引当金及び役員退職引当金の増減額	△254	△1,106
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	78
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△215	△3
受取利息及び受取配当金	△1,191	△1,012
支払利息	20	16
為替差損益(△は益)	△2	112
有価証券評価損益(△は益)	△2,148	1,230
有価証券売却損益(△は益)	△2	△59
過年度有価証券評価益	—	△698
投資有価証券評価損益(△は益)	—	290
持分法による投資損益(△は益)	△1	0
有形固定資産売却損益(△は益)	7	△2
たな卸資産評価損	163	—
売上債権の増減額(△は増加)	646	△986
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,387	△64
未収入金の増減額(△は増加)	465	△77
その他の資産の増減額(△は増加)	△2	△100
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,935	99
未払金の増減額(△は減少)	△235	△23
その他の負債の増減額(△は減少)	△440	△351
その他	△11	837
小計	193	306
利息及び配当金の受取額	1,191	1,102
利息の支払額	△20	△16
法人税等の支払額	△483	△112
営業活動によるキャッシュ・フロー	880	1,280

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△23	△13
定期預金の払戻による収入	200	—
有価証券の取得による支出	△4,982	△4,990
有価証券の売却による収入	4,982	4,760
有形固定資産の取得による支出	△327	△3,007
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△809	△9,937
投資有価証券の売却による収入	4,853	5,775
子会社株式の取得による支出	△330	△18
貸付けによる支出	△45	△73
貸付金の回収による収入	10	171
匿名組合出資金の払戻による収入	—	2,101
その他の支出	△943	△344
その他の収入	1,705	588
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,290	△4,988
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100	50
短期借入金の返済による支出	△87	—
長期借入金の返済による支出	△280	△65
自己株式の取得による支出	△3	△3
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△1,542	△1,541
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,815	△1,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,358	△5,382
現金及び現金同等物の期首残高	20,135	29,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,494	23,844

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)

	ファッション 衣料・雑貨 関連事業 (百万円)	合成樹脂関連 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	23,571	1,650	497	25,719	—	25,719
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	49	126	176	△176	—
計	23,571	1,700	624	25,895	△176	25,719
営業利益又は営業損失(△)	△178	124	175	121	6	128

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

	ファッション 衣料・雑貨 関連事業 (百万円)	合成樹脂関連 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	24,462	1,824	536	26,822	—	26,822
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	36	123	159	△159	—
計	24,462	1,861	659	26,982	△159	26,822
営業利益	173	163	259	596	7	603

(注) 1 事業区分は、商品、役務の種類・性質等を勘案し、ファッション衣料・雑貨関連事業、合成樹脂関連事業、その他事業に区分しております。

## 2 各区分の事業内容

## (1) ファッション衣料・雑貨関連事業

婦人服、衣料品、服飾雑貨等ファッション用品の製造販売

## (2) 合成樹脂関連事業

植札用タグピン等のプラスチック製品の製造販売

## (3) その他事業

貨物自動車運送業、不動産関連事業等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、その記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項ありません。